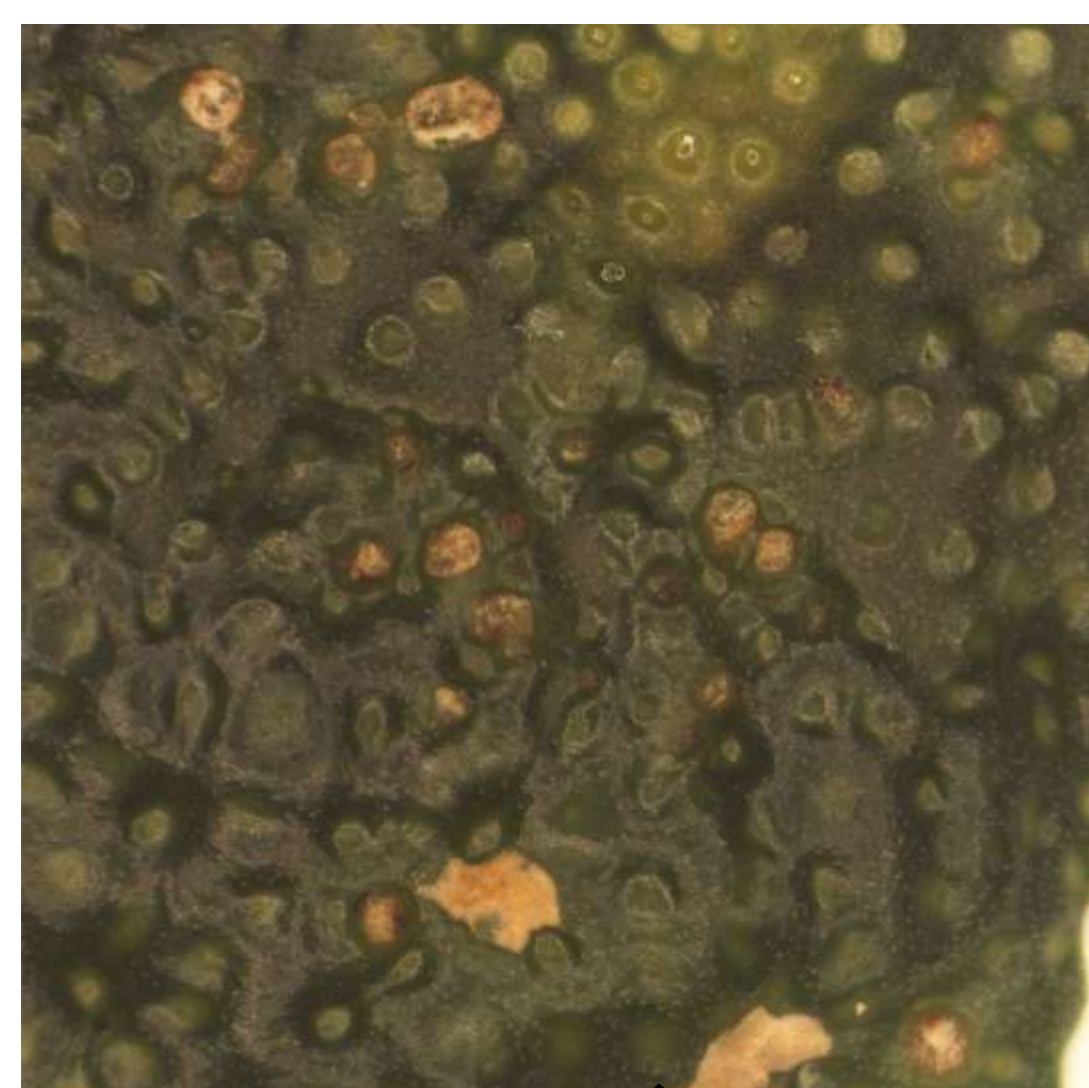


カンキツかいよう病のユズでの発病

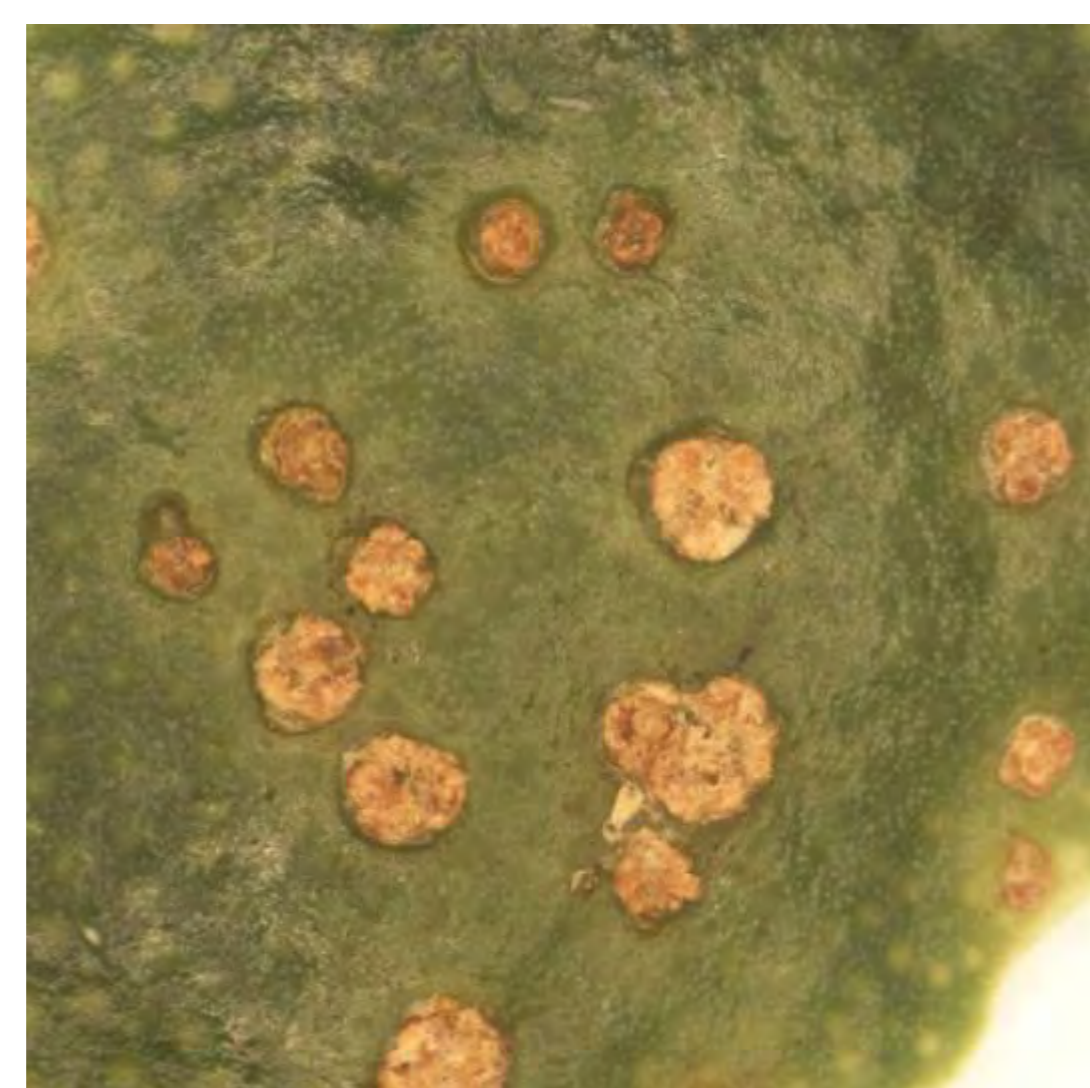
ユズはこれまでカンキツかいよう病に感染しないとされていたが、菌の人工接種で宿主となることが確認された



ユズ幼果での発病
病斑拡大



ユズ



ネーブル



ネーブル幼果での症状

○噴霧接種における発病状況(伊台)

樹種	接種回数	反復	調査果数	発病果数	発病果率 (%)
ネーブル (白柳)	無接種	1	100	6	6.0
		2	65	15	23.1
	平均		82.5	20.5	24.6
	3回接種	1	100	87	87.0
ユズ (木頭系)	3回接種	1	100	6	6.0

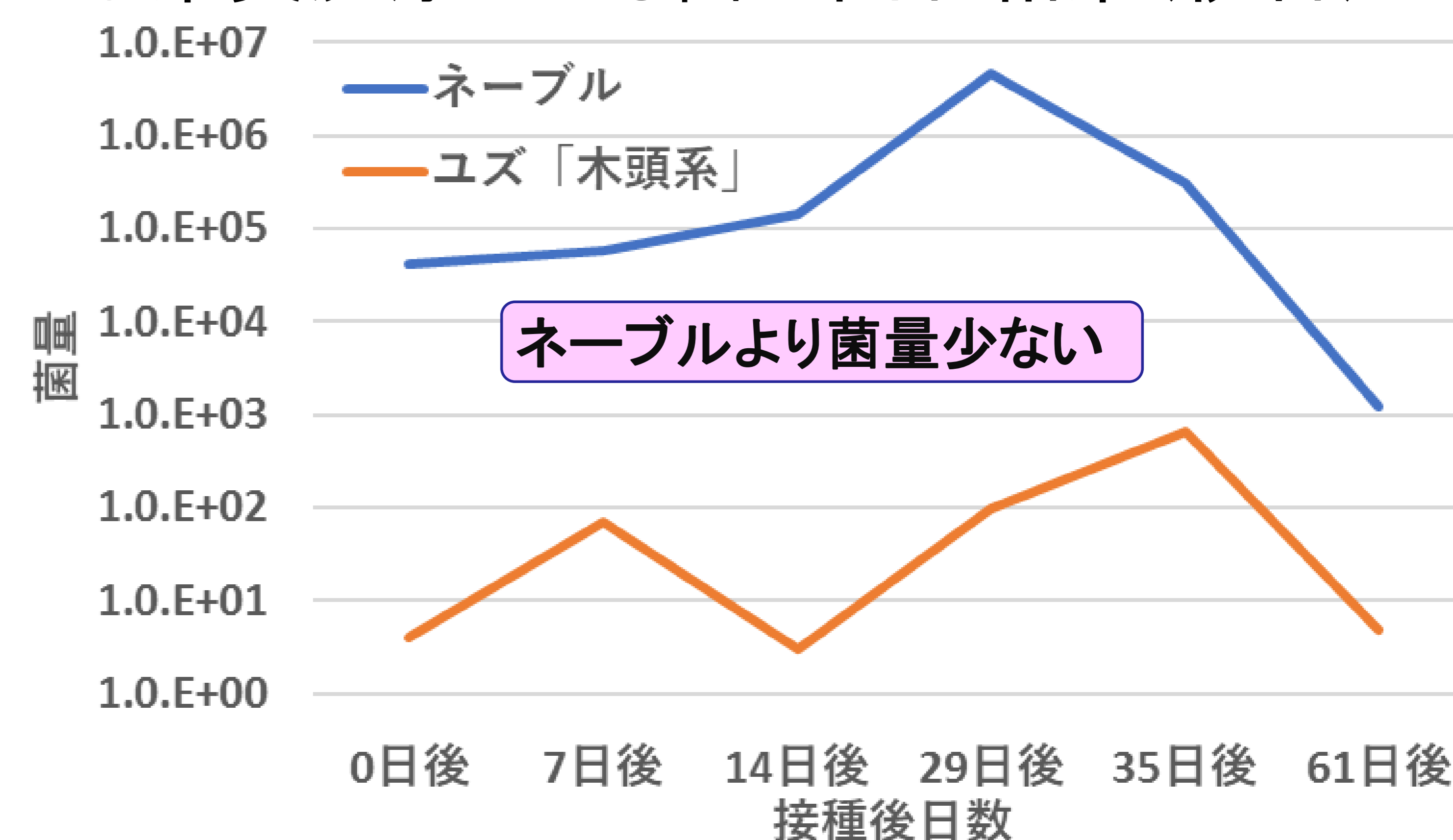
ネーブルより発病果率低い

1) 1回接種：6/6、3回接種：6/6,6/13、6/20

○生産地での発生状況

調査対象園地	調査樹数	調査果数	発病果数	発病果率 (%)
日吉1	10	275	0	0
日吉2	10	272	0	0
鬼北1	10	300	0	0
鬼北2	10	264	0	0
鬼北3	10	189	0	0
鬼北4	10	300	0	0
松野1	10	280	0	0
松野2	10	277	0	0
松野3	10	243	0	0
松野4	10	300	0	0
計	100	2,700	0	0

○果実洗浄による菌の回収結果(伊台)



生産地での発病は確認されていない
罹病性のネーブルと比較すると、感染率は低く、菌量も少ない